

世界に誇れる、 化学を。

その仕事は、未来に新しい価値を提案しているか。

人と地球の明日を幸せにしているか。

私たちが創立以来、追求してきたのは

ほかの誰にもできない、デンカならではの強みを生かして

社会を、世界を、よりよく変えていく挑戦です。

100年を越える伝統と、最新のテクノロジーを融合させ

化学の未知なる可能性を切りひらくこと。

未来のニーズを予測し、まだ見ぬ豊かさを創造すること。

環境・エネルギー分野での先端素材の開発や

ライフサイエンス領域のさらなる推進など

私たちは「世界にとってかけがえのない存在」となる

企業をめざし、多様化する社会の課題に挑み続けます。

Denka

デンカ株式会社
東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー
www.denka.co.jp

沖縄・石垣島

The Denka Way

Summer
2023 Vol.16

発行/デンカ株式会社 コーポレートコミュニケーション部
〒103-8338 東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー
発行責任者/山本浩之 発行日/2023年7月11日



禁無断転用・複製

Denka

The Denka Way

Summer

2023

Vol.16

Contents

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 02 事業価値創造 デンカ3つ星事業100%への挑戦 | 14 役員一覧 |
| 08 人財価値創造 デンカの健康経営 | 16 My Vision 一人ひとりが描く、デンカの未来 |
| 13 スペシャリストの眼差し | 18 Denka TOPICS |

3つ星をつかめ 今、この手に。

デンカ 3つ星事業 100% への挑戦

経営計画「Mission 2030」の成長戦略の一つ、「事業価値創造」において、デンカは2030年までに、すべての事業を「3つ星事業」にする目標を掲げています。その意味するところについてお伝えします。

3つ星の定義と条件

スペシャリティ・メガトレンド・サステナビリティの3要素のそれぞれに定められた基準をクリアすることで星が付与されます。



誰よりも上手に
できる事業で収益向上

製品別 ROIC > 10%
(過去3年平均)

デンカが強みを発揮できる技術を活かし、誰よりも上手にできる事業に経営資源を集中します。シェアや独自性、技術力(特許数)の結果として現れる収益性に加え、資本効率を重視して、ROIC(投資資本利益率)を判断基準に設定しました。



成長が期待できる
3分野に注力

注力3分野
(ICT & Energy, Healthcare,
Sustainable Living)に該当

事業機会を生み出すメガトレンドの分析から導き出した ICT & Energy, Healthcare, Sustainable Living の3つの注力分野に該当する事業であれば、成長性につながると判断しています。今後は注力分野に該当する事業のみ、製品開発、事業創出を行います。



事業の持続可能性を
2つの指標で測る

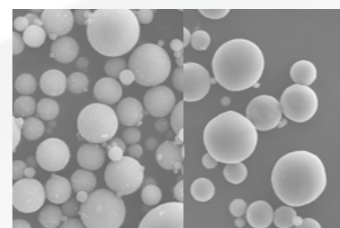
» 製品別 CO₂排出量1万トン未満
» 製品別労働生産性 > 5百万円

CO₂排出量は、2030年60%削減(2013年度比)を目指すなど、2050年カーボンニュートラルへ向けた明確なKPIが設定されています。また、労働生産性の低い事業は、今後の労働人口減少により事業継続が困難になると捉えて、2つの条件を共に満たす事業が成長持続性のある事業と位置付けています。

代表的な3つ星製品

球状シリカ・球状アルミナ

カーバイトから受け継がれた当社独自の高温焼成技術がベースとなって生まれた製品です。ICT関連の半導体封止材用フィラーとして、会社の収益を支える主力製品のひとつとなっています。



球状シリカと球状アルミナ

POCT[※]検査試薬

新型コロナの流行により、需要が高まったPOCT検査試薬。しかし、今後Withコロナの生活様式が定着する中で継続した需要があるかは不透明です。今後、インフルエンザ、新型コロナに続く、第3、第4の疾患領域での貢献が求められます。

※POCT: Point of Care Testing (臨床現場即時検査)の略。



新型コロナウイルス抗原迅速診断キット

高透明樹脂「クリアレン[®]」

飲料ボトルのシュリンクラベル、食品包装容器、化粧品のキャップなど幅広い用途に使用されています。バイオマスプラスチックなどを活用した製品開発や、ケミカルリサイクル技術が確立されることで、需要のさらなる広がりが期待されています。



クリアレン[®](ペットボトルラベルの使用例)

デンカが取り組む事業価値創造とは

3つの星が 意味するもの

「2030年までに、人財・経営価値を高めスペシャリティ・メガトレンド・サステナビリティの3要素をそなえた事業価値創造に集中する。」。新たなデンカのビジョンのもと取り組む経営計画「Mission 2030」の実現には、ポートフォリオ変革が最重要課題の一つになっています。

ポートフォリオ変革の方向性を一言で示しているのが「3つ星事業100%」です。「明確な基準がある」「シンプルな言葉と数字で分かりやすい」「一つのベクトルに向かって一丸となって取り組みやすい」といった表現にこだわり、シンプルな目標基準として設定しました。

3つ星事業100%への道

3つ星事業を増やしていくことが、会社全体の収益を上げ、持続可能な企業へと飛躍する鍵となるでしょう。

それでは、各事業はどのようなプロセスで3つ星を目指していくのでしょうか。

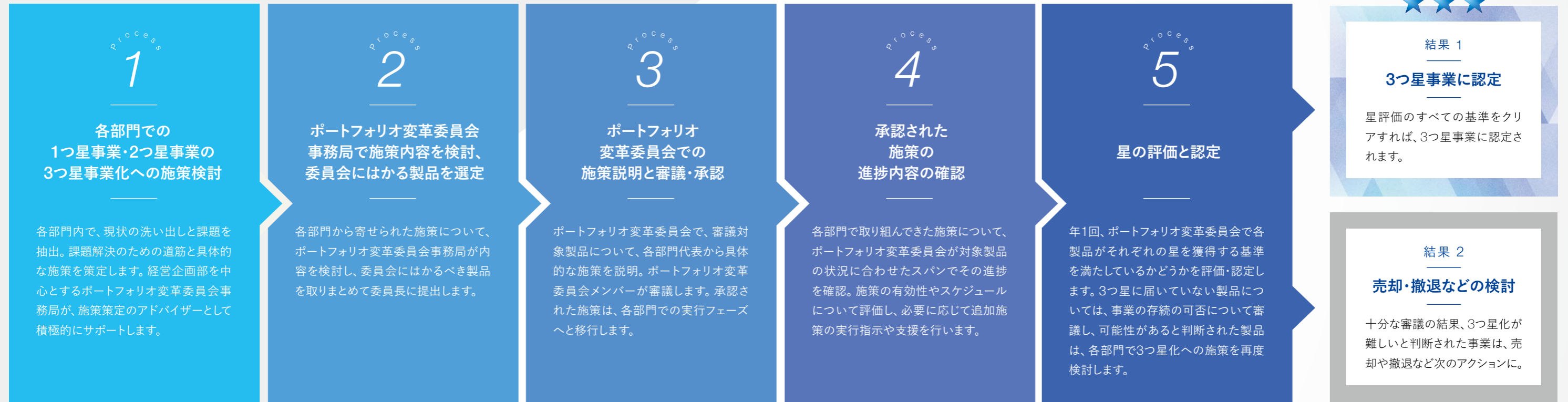
ここでは、その取り組みの工程を追ってみましょう。

ポートフォリオ変革委員会による審議

3つ星事業を100%にするための施策は、社長をトップ(委員長)とする「ポートフォリオ変革委員会」にて審議されます。

7月に初めての委員会が開催され、1つ星の事業について、3つ星化に向けた施策がはかられます。その後2つ星の施策検討や、施策の進捗効果の確認が定期的に実施されていきます。

審議のプロセス



全体スケジュール

デンカの既存事業のすべてがメガトレンドに該当しており、1つ星はいわばスタートライン。そこから、スペシャリティとサステナビリティの条件をどうやってクリアするかが各事業のチャレンジです。



挑戦を後押しして、変革を加速させる。

会社全体で変革を後押しする。「3つ星事業100%」はそのための明確で明快な指標です。現在は、早期の収益化が難しく、労働集約型かつCO₂排出量が多い事業もあります。業務改善やコストダウンの積み上げ、製品のラインアップの拡充といった日々の活動も当然重要ですが、1つ星、2つ星は、従来の取り組みの先に3つ星を獲得することは簡単ではありません。そして、現在3つ星を得ている事業においても、変革を止めたところから衰退は始まります。

一方、現在1つ星であっても数年先に3つ星を獲得し、将来長年にわたってデンカの屋台骨を支える事業に成長させていくことは決して不可能ではありません。それはデンカの歴史からも証明されています。例えば乾電池の導電材として開発されたアセチレンブラック。一時期低迷していましたが、リチウムイオンバッテリーの導電材や海底ケーブルといった用途で、今や社会になくてはならない製品になっています。一度はオールド事業と区分された製品であっても、市場やコンセプトをピボットすることで日の目を見ることは決して珍しいことではないのです。

今回、シンプルで腹落ちしやすい指標が示され、各製品における課題も明確になりました。現状を打破するための予算も確保されています。各部門が変革に真正面から取り組み、従来の常識を飛び越えたチャレンジができれば、「3つ星事業100%」は達成できると確信しています。

経営企画部も、各部門の変革を全力でサポートし、「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる。」というパーパスの実現と一緒に目指してまいります。

3つ星事業100%をこの手に 4部門長が語る挑戦

デンカの各部門において、3つ星事業100%達成をどのように進めていくのか。各部門長が達成への意気込みを語ります。

電子・先端プロダクツ部門



従来の「当たり前」と とらわれない組織と人間関係を

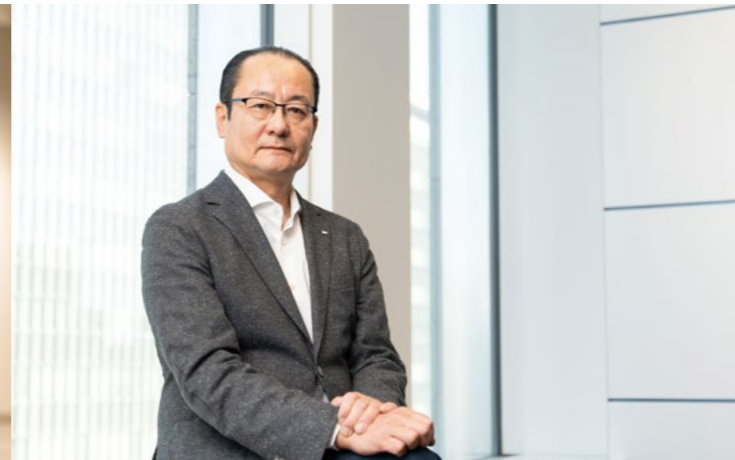
部門長 堀内 博人

当部門での全製品3つ星化へ向け、以下を意識し注力すべき製品の選択とリソースの集中、事業ポートフォリオの改革を実行していきます。

- »メガトレンド分野に同調し“ON TIMEで最適素材の開発と提供”
- »最終顧客、加工メーカーとできるだけ深いレベルでの会話をし“困りごとを聴取”
- »当社の“得意分野=上手にできる分野で貢献”
- »最適なタイミングでの投資判断=需要の伸びを意識した先取りでの生産キャパシティ確保

部門のメンバー一人ひとりが取り組むべきことを認識し、組織や各自のビジョンとやりがいを持って、日々の業務に取り組んでほしいと考えています。ON TIMEでの製品投入や事業拡大のためには、時に努力・決断が必要になることもあります。それらを乗り越えた先には喜びや楽しさが得られ、その経験は次のステップを目指すパワーの源にもなります。従来の当たり前にとらわれない柔軟な発想と、それを大事にする組織や人間関係がとても重要だと考えています。

ライフイノベーション部門



先人の努力を無にせず 未来に業務を受け継ぐ

部門長 高橋 英喜

インフルエンザワクチン、検査試薬などの既存製品群について、個々の特徴、歴史的経緯などを分析し、ウイークポイントを抽出した上で、そこに集中して改善に取り組むことが肝要と捉えています。拡販頼みにはいたしません。場合によっては販売中止なども覚悟が必要です。成否を握る鍵は製造、販売、開発の一体的連携による取り組みにあると考えています。

また、がん治療用ウイルスG47Δ製剤やインテリプレックスなどの新規事業については、問題個所の抽出、分析を行う以前に、一定水準の受注、生産、販売に至っていないため、いち早く販売の実績を上げることが最優先と捉えています。ただし、その後に見れるであろう問題点を今から予測し、事前に回避する手だてを講じておく必要があると思っています。

ここに至るまで、既存製品群を大事に育ててくれた先人たちの努力を無にしないよう、また新規事業を含め、これから先のデンカを支える人たちに快く受け継いでもらえるよう、「オール3つ星」部門を目指し、最後の力を振り絞ります。

エラストマー・インフラソリューション部門



「上手にできる事業」に 経営資源を集中させる

部門長 小俣 昌博

当部門の31の製品中、26製品が1つ星事業。2030年度の目標達成は、当部門の進捗如何に掛かっていると看做してはなりません。「上手にできる事業とできない事業を見極め、上手にできる事業に経営資源を集中し、当部門を「Mission 2030」の全社目標の達成に必要な不可欠な存在とする。」という部門方針のもと、将来需給バランス精査、値上げによる価値追求、新製品開発加速、高付加価値グレードへのシフトなど、オーソドックスな取り組みを積み重ね、一方、上手にできる事業については、積極的な投資により、成長を加速させていきます。

また、3つ星事業への転換の最大のハードルは、新たな事業をいかに創出できるか。そのため研究開発にも重きをおきます。

2023年度は、3年連続部門営業利益赤字から脱却し、社会インフラの基盤構築に不可欠な材料を広く社会に提供する「Sustainable Living」の中核部門としての再スタートの年。部門メンバーと共に、自信と誇りをもって活動に取り組んでいきます。

ポリマーソリューション部門



変革に「本気」で取り組めば オール3つ星が見えてくる

部門長 原 敬

オール3つ星化に向けて以下に取り組めます。

- »1つ星、2つ星事業の再構築:将来計画を検証し、事業継続のための施策を織り込み、時限付きのマイルストーンを策定します。
- »ケミカルリサイクルの社会実装:国家、グローバルスケールでのサーキュラーエコノミーシステム構築に、どのように貢献できるかの観点で取り組みます。
- »既存製品の高付加価値化シフト:「需要が戻ったら」「PMMA※の市況が上がったら」といった楽観論を前提とした戦略から脱却します。
- »新規事業創出:短期では部門間コラボによる既存品マイナーチェンジでの新市場創出。中長期ではCVCなど外部リソースやオープンイノベーション、M&Aも視野に入れた探索を進めます。
- »事業体の抜本的見直し:アイテムによってはゼロリセット、ラディカルな方策も検討、実行します。

変革は必須です。部門メンバーやサプライヤー、お客様にデンカの“本気”を理解していただくために、発信・行動していきます。

※ PMMA: 代表的な透明樹脂の一つであるアクリル樹脂



Special Feature 2

Mission 2030

人財価値創造

心も体も元気に！

デンカ[®]の健康経営

経営計画「Mission 2030」の柱の一つである「人財価値創造」において、デンカが重視するテーマが「健康経営」です。なぜ健康経営を重視するのか、どのような施策に取り組むのかをお伝えしていきます。

Let's Study!

健康経営、なぜ大事？

健康経営の実行組織である健康推進室の赤塚室長に、健康経営を重視する背景や施策の全体像を聞きました。

健康づくりは仲間がいると頑張れます！
ぜひ同僚・家族と声を掛け合ってください！



私の健康Tips

趣味のテニスで
体を動かす

人財戦略部 副部長 兼
健康推進室長
あかつか だいすけ
赤塚 大輔

そもそも「健康経営」って何ですか？

従業員の健康づくりを、企業が戦略的に実践していくことです。近年、日本企業の間で関心が高まっており、デンカも「Mission 2030」の方針の一つに健康経営を掲げました。なぜ、個人の「健康」にまで、企業が関与するのか。それは、人口減少や少子化が進む今、従業員一人ひとりが、企業の大切な資産であるという認識が一層高まっているからです。病気や怪我を理由に、働き続けられなくなる事態を防ぐのはもちろん、体調が良好であれば、業務の生産性や品質を高めることにもつながります。「Mission 2030」では、「3つ星事業100%」をはじめ高い目標を掲げていますが、従業員一人ひとりが健康であるからこそ、各現場でさまざまな工夫が生まれ、目標達成に近づくことができます。従業員の健康こそが、「Mission 2030」達成の土台であると言っても過言ではありません。

どんなことに取り組むの？

デンカにはこれまでも、健康診断やインフルエンザの予防接種といった取り組みがありました。しかし、より戦略的に従業員の健康づくりをサポートするためには、まず「課題」がどこにあるのかを明らかにし、その課題に即した手を打つ必要があると考えました。そこで2021年に発足したのが健康推進室です。健康推進室ではまず、各事業所で行われている健康診断のデータを集め、分析することから始めました。その結果が、P10でご紹介するデータです。全体としては決して悪い数字ではなく、運

※副流煙：たばこの先端から出る煙のこと。喫煙者が口から吸い込む主流煙より、多くの有害化学物質を含む

動習慣などの良いルーティンがある従業員が多いことが分かりました。一方で浮き彫りになった課題は、事業所によっては喫煙率が高い点です。喫煙は、病気の原因になったり、副流煙*を出してしまうことによる周囲の受動喫煙という問題があり、それらを防ぐ取り組みを強化していきたいと考えています。健康経営で一番大切なことは「予防」です。その他の課題についても今後さらに改善し、従業員の健康づくりを多方面からサポートしていきます。

従業員に伝えたいことは？

実は私自身、以前はそれほど自分の健康を気にしておらず、たばこも吸っていました。しかしある時「次の一本のたばこで、自分の体は取り返しのつかないことになる」とふと感じたんです。これを機に、サプリなどの補助剤も活用して禁煙に努め、健康を意識するようになり、今では健康推進室長として元気に仕事をしています。

健康づくりは、本人の意識が変わらなないと、なかなか始められません。さまざまな取り組みを通じて、そのきっかけづくりをお手伝いしていきたいと思っています。

健康経営優良法人2023 ～ホワイト500～に認定

デンカは経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2023(大規模法人部門～ホワイト500～)」に認定されました。特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度で、「ホワイト500」は大規模法人部門の上位500法人が認定されます。健康経営優良法人としては、当社は2年連続の認定となります。



Let's Check!

デンカの健康通知表

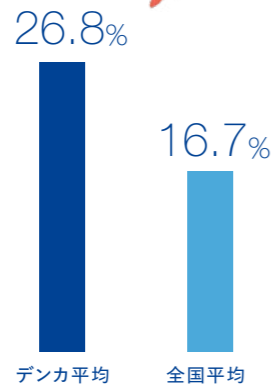
2022年度に各事業所で実施した健康診断結果を分析しました。
今のデンカの「健康」を数字で見てください!

喫煙率

がんばりましょう ▲

約35%が
喫煙している事業所も!

全国平均と比べて、デンカの喫煙率は高い結果。特に高い事業所は35%を超えています。吸っている仲間が周囲に多いために、喫煙への抵抗感が低いと考えられます。社内アンケートでは喫煙者の半数が「いずれは止めたい」と回答しており、禁煙のきっかけづくりや継続支援が重要と考えています。



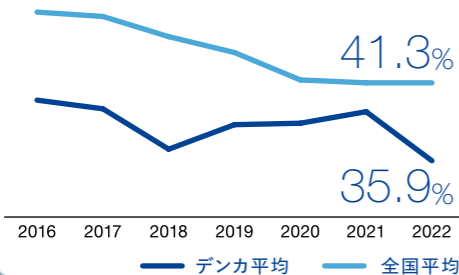
血糖、血圧、脂質の適正値者

がんばりましょう ▲

約65%が
生活習慣病に要注意



血糖、血圧、脂質の適正値者の割合

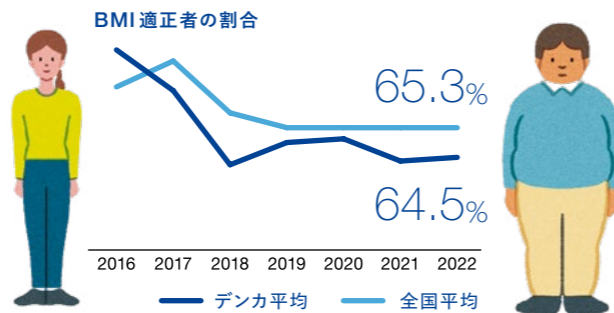


全国平均値よりやや低い状況が続いており、2018年以降は改善傾向にあったものの、2022年は大幅に悪化しました。コロナ禍で減っていた外食機会が、再び増加している点が背景にあると考えられます。

BMI適正者

がんばりましょう ▲

約35%が
痩せすぎor肥満ぎみ

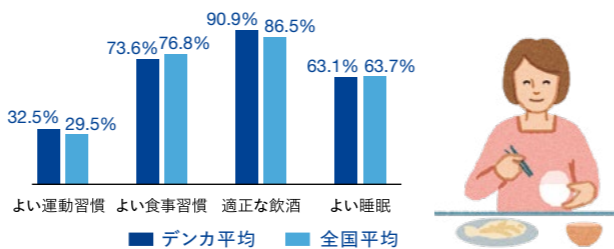


デンカのBMI適正者の割合は全国平均と比べてやや低く、データのある2016年から低下の傾向。2020年以降はコロナ禍で外出機会が減ったことも原因と考えられます。肥満は、動脈硬化、心筋梗塞、脳卒中などの重大な病気につながる可能性があり、注意が必要です。

よい習慣

よくできました ○

運動、食事、睡眠は
良好!



運動 1日1時間以上歩く、など
食事 就寝前の2時間以内の夕食が週2回以下、など
睡眠 睡眠で休養が十分とれている

健康づくりのためのよい習慣については、「運動」「適正な飲酒」が全国平均より高くなっています。これらの数値は、今後も一層高めていきたいと考えています。

Let's Join!

健康経営へのアクション

健康経営のさらなる強化に向けて、さまざまな取り組みが進んでいます。体験者の声と共にをご紹介します。

私が
をご紹介します!



人財戦略部
健康推進室
あだち なお
足立 奈央

私の健康Tips

週2~3回の
ボクシングジム

健康づくりを習慣に!

健康支援アプリ「&well」

健康づくりを後押しするアプリとして「&well」を導入しました。私用のスマートフォンにアプリをインストールして、自分のペースで使うことができます。最近ではスマートフォンで簡単に歩数や心拍を確認できるようになりましたが、このアプリではさらに、自分の健康状態の記録が簡単につけられる上、手軽にできる運動のライブ配信などを視聴できます。現在、従業員の約5割がアプリをインストールしており、「毎日使っている」という声もいただいています。



まずはアプリをGet!



電子・先端プロダクツ部門 先端機能材料部 つちだりか
土田 理加

私の健康Tips

週2~3回のジム/
最寄りの隣駅から歩く

「&well」をきっかけに、健康や運動への興味が湧くようになりました。ウォーキング大会の歩数管理では、歩数に合わせてアプリが応援メッセージをくれるため「今日はもうちょっと頑張って歩いてみようかな、運動してみようかな」と積極的に楽しく体を動かすことができました。オンラインのエクササイズLIVE、健康について学べるコラムなどのコンテンツも利用しています。今では起床後の「&well」の確認が日課となっています。

約1,480人
が参加!

第2回 労使共催デンカウォーキング大会

2023年5月、「&well」の歩数ログ機能を活用したウォーキング大会を開催しました。7~10人の有志のチームを組み、チーム対抗で約1カ月間の平均歩数を競うというもので、各事業所で1位となったチームには賞品が贈られました。来年度も開催予定ですので、楽しみに!!



前職では毎日7~8km歩いており「最近歩いていない」と感じていました。また非財務KPIに体重適正者の項目を見つけ「このままでは、ヤバイ」と感じていた矢先、ウォーキング大会の案内があり参加を決意。参加するからには、目安の1日7,000歩は歩こうと思いましたが、普段の生活では足りず、最初は少し面倒な気持ちもありました。しかし実際に歩いてみると、程よく身体を動かさ、寝付きも改善。大会が生活を見直すきっかけになった上、最近は風も心地良いので、ウォーキングがとても贅沢な時間となっています。今後も続けたいです。

コーポレートコミュニケーション部 たじまゆうま
田嶋 佑磨



私の健康Tips

しっかり食べよく眠る/グッズで自宅筋トレ

みんなで健康を考えよう!

「デンカ健康 Week」

2023年5月29日(月)～6月2日(金)、健康を意識するきっかけづくりを目的に、集中的にセミナーを期間中毎日実施しました。セミナーのテーマは「オーラルケア」「人生100年時代のヘルスマネジメント」など5つで、デンカ健康保険組合の取り組みも詳しく紹介しました。「女性のライフステージと健康のポイント」にはオンラインで多くの従業員が参加するなど盛況で、「年代別の健康への影響を知ることができ、とても参考になった」といった感想が寄せられました。来年度もさらに内容を充実させて開催する予定です。



禁煙したい!

「遠隔禁煙指導」

禁煙は6か月間成功すると、その後も禁煙が継続しやすいことが明らかになっています。しかし、6か月ものモチベーションを維持するのはなかなか難しく、通院を続けるのも大変です。本プログラムは、アプリが日々の禁

煙をサポートしてくれる上、定期的にビデオ通話で指導員と面談ができ、無理なく続けやすい点の特徴です。禁煙補助薬も配送で受け取ることができます。禁煙を考えている方は、ぜひ本プログラムを活用してください。



体験しました! 青海工場 事務部 総務課 **岩崎 悠太**

私の健康Tips
1日8,000歩歩く
/ゴルフ・野球

これまで1日15本ほど吸っており、毎度の値上げのタイミングで禁煙を試みましたが失敗。世の中の禁煙志向も高まる中、禁煙外来を勧められ始めてみました。強い意志を持ち続けられるか不安でしたが、家族や友人・同僚に禁煙すると伝え、見守っていただきながら禁煙に成功しました。禁煙外来の担当者に吸いたくなる状況など面談やチャットでいつでも相談できたことも励みになりました。誰かに伝え、覚悟を決めたことが成功のポイントだったと感じます。禁煙を考えている方は、周りの力も借りながら、自分に合った禁煙に挑戦してみたいかがでしょうか。

デンカの禁煙活動指針

- ▶ 2023年4月より、各事業所の労使間に協議を開始、最低でも1回/月以上の禁煙Day(時間禁煙)を設定し、2023年上期から実施
- ▶ 2024年4月より、毎月2、22日を全社共通の禁煙Dayとして設定(時間禁煙の強化)
- ▶ 2025年4月より、全社、就業時間内禁煙(除休憩時間)
- ▶ 2026年4月より、場内喫煙所原則廃止

健康について相談したい!

「T-PEC 24時間電話相談窓口」



マグネットを配布しました。目につくところに貼って、お気軽にご利用ください

健康、医療、介護、育児、メンタルヘルスなど、さまざまな悩みごとについて、臨床心理士など心の専門家に相談できるサービスです。相談方法は電話、ウェブ、面談があり、電話は通話料無料で24時間受け付けています。T-PEC(株)が運営しており、相談内容が当社に伝わることはありません。

健康保険組合の施策をもっと知りたい!

デンカ健康保険組合ではさまざまな補助を提供しています。一度チェックしてみてください。



受けられる補助の例

- 禁煙外来の受診料、禁煙補助薬処方申請により全額補助
- 人間ドック・脳ドック受診料 7割補助
- がん検診・婦人科検診受診料 3万円を上限に全額補助



より確実な生産管理を追求し、高品質な「エミッター」を社会に提供する。

2センチに満たない小さな円錐の中には、ミクロン単位の部品が組み込まれている。これが、半導体材料などの検査装置に欠かせない電子源となるエミッターだ。茂木は、入社以来エミッター製品一筋のキャリアを歩むスペシャリスト。現在は主力製品である「デンカ TFE」の生産管理を担っている。

「エミッター製品は、顧客のニーズに合わせた少量多品種生産。そのため、常に現場の状況を把握し、効率よく作業

できるような工程管理が必要です」と茂木は語る。熟練したスキルが必要な作業も多くあるので、生産管理システムの導入や、自動化による作業の標準化・スキルレス化を推進する。

すべてはお客様の期待に応えるため。「細かな顧客ニーズに合わせた製品を迅速に提供できたときは、やりがいを感じます。今後も高品質なエミッターを提供し続け、デンカのスペシャリティを代表する製品に育てていきたいですね。」

【エミッター】

電子顕微鏡や半導体検査装置などで使用される、電子を放出する重要な部品



Specialist

浜川工場 機能材料部
エミッター課 エミッター係

もぎかつり
茂木 克徳

1989年入社。エミッター製品全般の製造をはじめ、改善や研究開発にも携わる。現在は、主力製品であるTFEの後半工程の生産管理を担当する。

役員一覧

(2023年6月22日現在)

2023年6月22日現在の役員をご紹介します。

取締役会長



山本 学

代表取締役社長



今井 俊夫

常務執行役員



吉野 信行

研究統括
(CSO = Chief Scientific Officer)
新事業開発部門長



徳本 和家

デンカパフォーマンス
エラストマーLLC 社長



高橋 英喜

ライフイノベーション部門長



林田 りみる

経理部
財務戦略部 担当

代表取締役専務執行役員



高橋 和男

技術統括 (CTO = Chief Technical Officer)
コンプライアンス担当
(CCO = Chief Compliance Officer)
資材部、物流統括部、生産・技術部、
エンジニアリング部、デジタル戦略部 担当

取締役常務執行役員



石田 郁雄

人財戦略担当
(CHRO = Chief Human Resource Officer)
経営企画部、人財戦略部、
コーポレートコミュニケーション部、
DCU、DCG、中国事業 担当

執行役員



中臣 康雄

五泉事業所長



笹川 幸男

大牟田工場長



戸谷 英樹

新事業開発部門長補佐
イノベーションセンター長



香坂 昌信

環境対策推進統括
環境保安部、
サステナビリティ推進部、
品質保証部 担当

取締役



福田 良之

社外取締役



内田 瑞宏

取締役
(常勤監査等委員)



木下 俊男

社外取締役
(監査等委員)



川村 禎生

DCHA・DSPL・DAPL
マネージングダイレクター



河合 正洋

千葉工場長



萩原 丈士

青海工場長



小俣 昌博

エラストマー・
インフラソリューション部門長



山本 明夫

社外取締役
(監査等委員)



的場 美友紀

社外取締役
(監査等委員)



原 敬

ポリマーソリューション
部門長



渡辺 健

総務部、法務部、
内部統制部、秘書部 担当



堀内 博人

電子・先端プロダクツ
部門長



野口 哲央

澁川工場長

My Vision

一人ひとりが描く、デンカの未来

毎号テーマを変えて、デンカで働くさまざまな役職・世代・拠点の方にそれぞれが描く未来について伺います。

【テーマ】

あなたが目指すスペシャリストとは？ Part.1

“What kind of specialist do you aspire to be?”



深い知識と
広い視野

青海工場
有機第二部 技術課 技術係
近藤 泰史さん



スマイル&
エコロジー

千葉工場
第四製造部 超高純度AB課 超高純度AB係
横田 ほのかさん



現場の
継続的改善と
課題解決力

大船工場
第二製造部 Toyokalon課 Toyokalon係
高木 仁彦さん



未知の課題に
楽しくトライ

大阪支店
総務課
松尾 岳樹さん



気配りと
思いやり

名古屋支店
総務課
針谷 つかさん



経験と知識を
信頼に
変えられる人

福岡支店
環境資材課
館林 一壽さん



フレキシブルな
対応

東北営業所
石村 結友さん



顧客の排出ガス
削減を支援

Denka Chemicals GmbH
Bengt Schwemann さん



“Plant
Biotech
Innovator”
植物バイオ技術の
イノベーター

Icon Genetics G.m.b.H
Head of Research
Stefan Wernerさん



“A sales specialist
who contributes
to the backbone
of technological
advancements.”
デンカの技術進歩に
繋がる営業の
スペシャリスト

Denka Corporation
Sales and Marketing
Takuya Ichikawaさん



プロフェッショナル感度と
ハイレベル認識を
持つ人材

電化無機材料(天津)有限公司
劉 琳さん



“专注和持续”
集中と継続

電化電子材料(大連)有限公司
李 慶海さん



“学无止境,
丰富自我”
もっと学んで、
もっと豊かに
になりたい

電化新材料研究(蘇州)有限公司
唐 益群さん



“自信、敢挑戦、
持续创新”
自信と勇気を
持って挑戦し、
持続的に
革新させる

電化精細材料(蘇州)有限公司
葛 麗さん



“Keen insight
towards
financial data”
財務データへの
鋭い洞察力

電化(上海)管理有限公司
管理部
沈 晓青さん



チャレンジに
負けない人財力

台湾電科股份有限公司
劉 宜蕓さん



“Dedication
has no limits”
献身に制限はない

Denka Construction Solutions Malaysia Sdn Bhd.
Continuous Improvement Department
Nuryazmin Binti Abd Kadirさん



挑戦改善成長

Denka Advanced Materials Vietnam Co., Ltd.
品質管理課
NGUYEN VAN DINHさん

4-6
Apr. Jun.Pick Up
May内視鏡治療のトレーニングを容易に
産学連携で開発のシミュレータが発売開始

デンカプロジェクトメンバー

デンカイノベーションセンター 新規材料研究部

ライフイノベーション部門 新事業探索部

ふくだ ゆうこ
福田 祐子さん

開発担当

先生方からご助言を頂きながら感覚的な要素を材料設計に落とし込み、リアルな触感の再現に努めました。

なるかわ まなみさん
成川 まなみさん

開発担当

実際の治療には立ち会えないため、社内評価の動画を先生方に共有し、医療現場での手技に近づけていきました。

おう えん
王 燕さん

海外販売担当

医療学会の展示会では、実際に内視鏡装置でデモンストレーションを行いました。医療分野の製品のため、内容の正確性を大切にしました。

むらた ゆか
村田 優花さん

国内販売担当

先生方から「現場では緊張するので、本モデルで練習し自信を付けたい」と言って頂き、必要とされている製品であると実感しました。

デンカの特許軟質素材を使用した潰瘍モデル。臓器に近いリアルな触感。出血を再現できる穴が4カ所ある

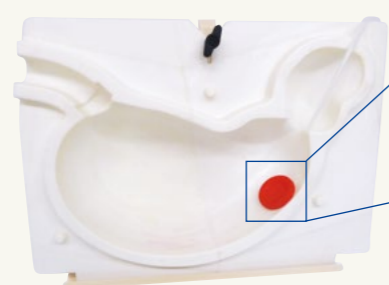


学習の様子。実際の内視鏡手術と同じように、医師はモニターの映像を見ながら止血を行う

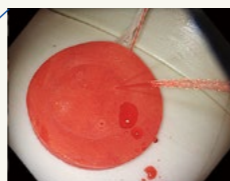
大が予想される医療シミュレータの分野においても、デンカならではの製品を通じて貢献していきます。

※デンカの登録商標。STARには“Simulator Training model for Advanced high Risk endoscopic therapy”の意味を込めている

医療シミュレータの仕組み

食道・胃・十二指腸を再現した
「上部消化管モデル」

ヒト3Dデータを参考に作製。開閉が可能。写真は開いた状態

疾患部分を再現した
「潰瘍モデル」

出血を再現した状態。裏側に装着された管を通して、擬似血液が噴出される



クリップにより止血された状態

東 北大学と共同研究の成果をもとに、「Medical Rising STAR®」* プロジェクトの第1弾として実際の内視鏡と治療用具を用いて内視鏡的止血術(クリップ法および止血鉗子による焼灼止血法)を学習できるシミュレータを開発し、2023年5月1日にデンカから試験販売を開始しました。

胃や腸などの消化器官から出血したとき、多くの場合内視鏡による止血術が行われます。しかしこれまで止血術は、プタの胃などを用いるか、実際の手術以外には、医師や初学生のトレーニングする機会がほぼないのが実情でした。一方で2011年の東日本大震災の際には、被災地で出血性潰瘍の患者が急増し、現在は緊急時への備えのためにも、一人でも多くの医師が高い技術を身に付けることが求められています。そのような中で、デンカの軟質材料を東北大学に紹介したことをきっかけに、医療シミュレータの共同開発がスタート。疾患部分をリアルに再現した製品の開発を実現しました。

今後もラインナップを拡充しながら、社会実装を目指していきます。市場の拡

Apr.

2023年度入社式を開催

4月3日に、2023年度入社式を開催。今年度はG職73名、M職87名、計160名の新入社員が入社した。入社式では、今井社長の祝辞の後、事業所ごとに新入社員紹介が行われ、新入社員代表者が「デンカビジョンのコアバリューである『挑戦』『誠実』『共感』をしっかりと胸に刻み、私たち一人ひとりが“真に社会に必要なとされる人財”になれるよう、精一杯努力を重ねていきます」と述べた。



Apr.

アジア最大のプラスチック・ゴム見本市「チャイナプラス2023」に出展

プラスチック・ゴムの見本市「チャイナプラス2023」が4月17日～20日、中国深圳の国際会展中心で開催され、当社機能樹脂部が出展。機能樹脂製品の最大マーケットである中国市場における、新規顧客・用途開拓やニーズの聴取、重要ユーザーとの対面での意見交換を図った。新製品「導光板用MS長期耐久グレード」などの紹介や、環境対応の取り組みとしてケミカルリサイクル、サステナブルSMを使用したMS・SBC・IPのPRを積極的に行った。



May

五泉事業所鏡田工場の新棟起工式を挙行

抗原検査キットを含む検査試薬の製造拠点である五泉事業所鏡田工場の、新棟起工式を5月30日に行った。本製造棟の建設は、ヘルスケア事業のさらなる成長を目的としており、生産能力増強とデジタル化を進める。起工式には、今井社長、高橋専務が出席。新潟県知事をはじめ、五泉市長などの列席により、鉄入れの儀、玉串奉奠などの神事を執り行い、工事の安全を祈願した。



Apr.

がん治療用ウイルス「G47Δ製剤」の製造能力を増強

がん治療用ウイルス「G47Δ製剤」の事業基盤の強化と将来を見据えた供給力増強を目的として、約120億円の戦略投資を決定。本投資では、五泉事業所新潟工場への新しい製造設備を設置する。「G47Δ製剤」は、生きたウイルスを製剤化したもので、製造には大規模なウイルス培養技術や特殊な試験技術が必要。長年に亘り、ウイルス感染症に対するワクチンと検査試薬の開発・製造を行ってきた当社の技術・ノウハウが活かされている。



May

Transform Materials社と低炭素アセチレンチェーン確立に向けた契約を締結

アセチレン製造の低炭素化に向けた技術確立を目的として、米国のベンチャー企業Transform Materials社と共同研究および実証設備導入契約を締結、5月23日に調印式を実施した。同社のアセチレン・水素製造技術にもとづく製造設備を当社の大牟田工場に導入する。クロロプレングムやアセチレンブラックなど当社主力製品のCO₂排出量低減に加え、副生する水素の活用によりカーボンニュートラルへの貢献にもつなげていく。

Jun.

感染症診断用医療機器「クイックナビリーダー™2」新発売

新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス抗原などを測定する抗原迅速診断キット「クイックナビ™」シリーズ6製品に対応したデンシトメトリー(光学密度測定)分析装置「クイックナビリーダー™2」を6月8日から全国の医療機関向けに発売開始。当社従来品「クイックナビリーダー™」と比較して、インフルエンザウイルスだけでなく新型コロナウイルス、アデノウイルス、RSウイルス、マイコプラズマにも追加対応可能となる。

